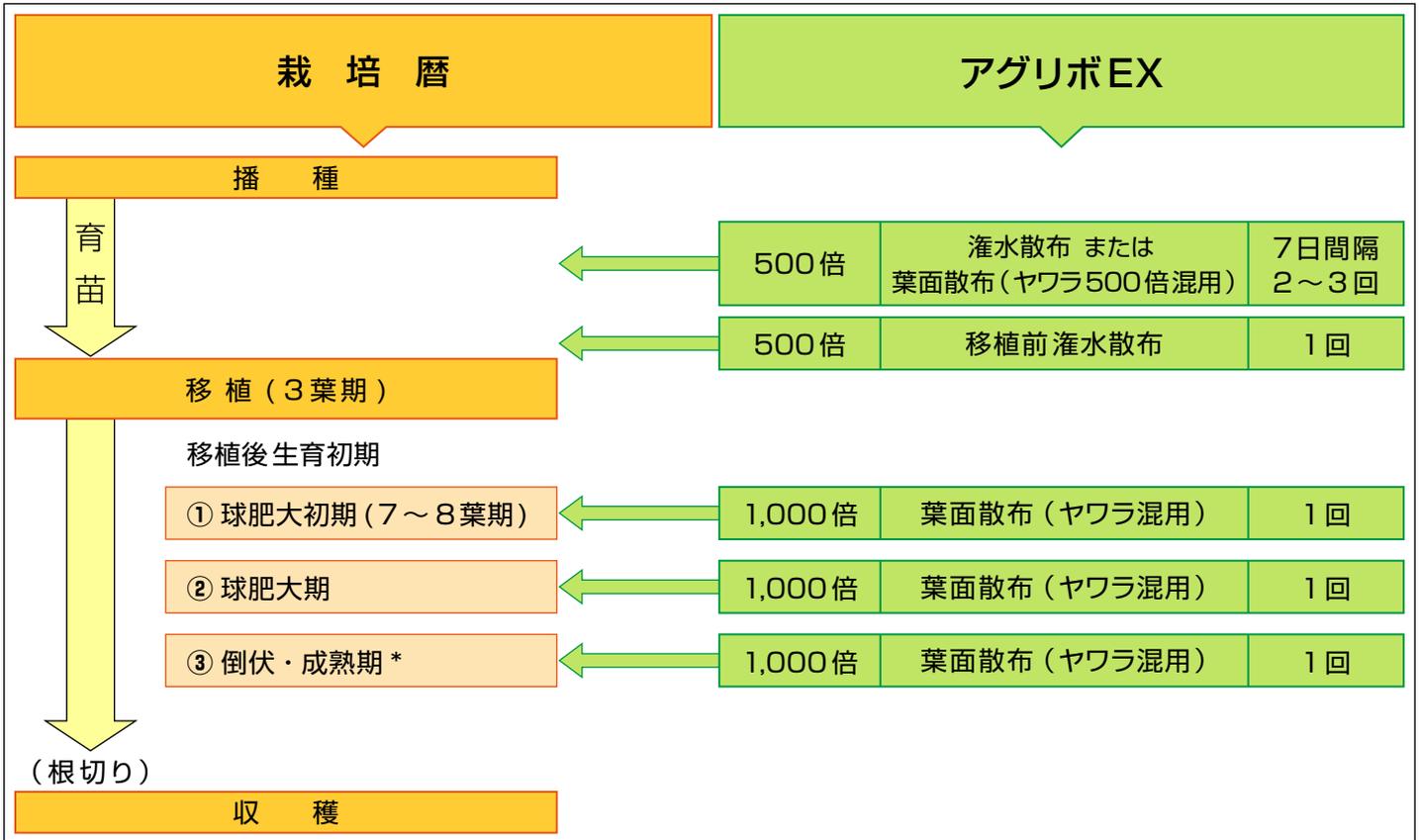


使用ポイントは、肥大期・倒伏期

玉ねぎは倒伏後も肥大します。その時重要になって来るのが、根の働き。移植後の①～③のポイントにしっかりと根を張らせ、球締まり・肥大・強い外皮づくりを促進しましょう。



* 極早生種の場合、③の使用は省く。(葉の青みが残り、収穫が遅れる可能性があるため。)

葉先枯れ対策に、ヤワラ!

乾燥や高温などにより、根からのカルシウム吸収が困難になり発生します。それからでは手遅れなので、移植後から「ヤワラ」を使って予防しましょう。

低温期の寒さ対策にも、ヤワラ!

「ヤワラ」に含まれるカルシウム成分で、組織をしっかりと作り、トレハロースで細胞を保護し、寒さを乗り切りましょう。冷え込みが予想される2~3日前に500倍に希釈して葉面散布。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに「光触媒」入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、「展着促進材」(界面活性剤・トレハロース)入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328